ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

ボーリング名	BV-4	調査位置				北　緯	36 ° 20 ’ 30.4101 ”
発注機関	栃木県足利土木事務所			調査期間	2005-09-23 ～ 2005-09-23	東　経	139 ° 26 ’ 22.5921 ”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	48.00 m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 7.00 °	使用機種	試錐機		ハンマー落下具	
総掘進長	5.45 m								エンジン		ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値 0 10 20 30 40 50	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
1	47.44	0.56	0.56		礫混じり粘性土 (C-G)	黒褐			表土。植物片やチャート角礫を混入する。基質はやや有機質土。混入礫径はφ5mm～2cm程度。含水は低く、締まりゆるい。			1.15	5	6	7	18／30	18							
					礫混じり粘性土 (C-G)	暗褐			崖錐堆積物。基質はやや有機質の粘性土。φ5mm～2cmのチャート角礫を混入する。含水低く、締まりはゆるい。			1.45												
2	45.42	2.02	2.58									2.15	8	7	11	26／30	26							
3	44.55	0.87	3.45		粘土混じり礫 (G-C)	淡褐灰～暗褐			チャート角礫を主体とする。礫は比較的新鮮。粘土は暗褐色を呈し、含水低い。			2.45												
												3.15	13	12	12	37／30	37							
4					礫混じり粘性土 (C-G)	暗褐			φ5mm～1cmのチャート角礫を混入する。基質の含水は低く、親指でへこむ程度の硬さを有す。4.45m以深、混入礫少ない。			3.45												
												4.15	7	6	6	19／30	19							
5	42.55	2.00	5.45									4.45												
												5.15	5	6	6	17／30	17							09/23
												5.45												